

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、8～17℃台を示し、やや低めからかなり低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週の2%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり24トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり18kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり93kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.7kgの水揚げで、前週の18%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり752kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヤリイカなどが1日1統当たり9kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり123kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり248kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/28～3/4の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、山口沖～山陰沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）3日延9隻、総計356箱、1航海最高81箱、平均39.6箱、スルメイカを漁獲、魚体は（20～30入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-4号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」・「第7-5号 6県ケンサキイカ情報（令和6年度 第8号）」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>